

## ウルトラ6兄弟 v s 怪獣軍団 (1974)

メディア 映画  
ジャンル 特撮 SF  
製作国 日本/タイ  
色彩 Color  
時間 80分  
初公開日 1979/03/17  
公開情報 富士

## 【解説】

早魃のタイ。仏像泥棒を追いかけた少年コチャン（コ・ガオディンディ）が犯人に射殺される。M78星雲から信心深いその少年を見ていたウルトラの母は、彼を神話のヒーロー、白猿の化身ハヌマーンとして蘇らせる。折しも、降雨ロケットの失敗から現れたゴモラ、アストロモンス、ドロボン、タイラント、ダストパン（これは「ミラーマン」から）等怪獣たちに対し、ゾフィー、ウルトラマン、ウルトラセブン、帰ってきたウルトラマン、ウルトラマンA、ウルトラマンタロウのウルトラ6兄弟とハヌマーンは共同戦線を張る。ハヌマーンのデザインが間抜け（特に歌舞伎の見栄のような飛行のポーズ）で、かっこ悪い（バチあたらねえだろうな）が、6兄弟そろっての光線発射など心躍る場面も用意されている。ちなみにウルトラ戦士に3分の制約はないためずっといます。

## 《全特撮レビュー》

太陽が地球に異常接近した。水不足にあえぐタイでは子供たちが雨乞いの踊りに夢中。そんな中どさくさに紛れて仏像を盗む悪党がいた。それを追跡した少年コチャンは、銃で撃たれて死亡してしまう。コチャンの仏像を敬う心に感動したウルトラの母は、コチャンを白猿ハヌマーンとして蘇らせた。ハヌマーンは強盗を処刑したり、ウルトラ6兄弟と力をあわせて地中から姿を現した怪獣軍団を倒したりと大活躍！！

日本・タイ合作。本作品は、ハヌマーンの異常な形での飛びかた、リンチに近い怪獣の倒しかた、コチャンの無残な死に方などがなにかとファンの話題にのぼることが多い。しかし、ウルトラの母の巨大な手がコチャンの亡骸をつかむシーン、巨大なハヌマーンが等身大の強盗を追いつまえていくシーンなどの合成、ロケット発射場のミニチュア・ワークなど特撮的な見所も多く、娯楽作としての水準は高い。

## 【クレジット】

監督 東條昭平  
製作 円谷皐  
企画 円谷皐  
プロデューサー ソンポート・センゲンチャイ  
伊藤久夫  
脚本 伊藤久夫  
若槻文三  
淡豊明  
ソンポート・センゲンチャイ  
撮影 佐藤貞夫  
特撮監督 佐川和夫  
音楽 冬木透  
ナレーター 木原正二郎  
出演 コ・ガオディンディ

**声の出演**

アナン・プリチャ  
ヨーチャイ・メクスワン  
パワナ・チャナッチ  
佐久間あい  
白川澄子  
仲木隆司  
栗葉子  
滝口順平  
兼本新吾  
二又一成